

宣 言

「東日本大震災の教訓と知見から未来を拓く」 ～永続的で広がりのある震災伝承を実現するために～

東日本大震災から 10 年、私たちは歴史的な災禍で受けた大きな悲しみと悔しさを胸に、地域の再生に向けて懸命に歩みを続けてきました。

同時に確かめてきたのは、どんなに時が経とうとも、あの出来事を忘れない、災害による犠牲と人災の過ちを繰り返さないという思いです。

南海トラフ地震や首都直下地震などの大災害が間近に想定され、東北でも引き続き地震、津波、その他自然災害の発生が予想される中、3.11 の被災体験と記憶をどう生かし、伝え継いでいくのか。

新型コロナウイルスの流行という新たな災禍への対応も含めて、震災教訓を共有する使命は、ますます重みを増しています。

使命の途上で迎えた「10 年」を一段落の節目ではなく、この先の 50 年、100 年を見据えた「未来」を拓くための新たな出発点にする。

その決意と覚悟をあらためて確かめ合い、永続的で広がりのある震災伝承を実現させるため、以下のことをここに宣言します。

- 一、 震災の教訓と反省を伝え継ぐことにより「災害で命が失われない社会」「被災者や被災地域の苦難を軽減し、再生に向かうことのできる社会」の実現に貢献します
- 一、 被災体験の有無をこえて教訓と知見を広く共有できるよう、改めて深く震災に向き合い直し、伝承に必要な企画と発信を充実させます
- 一、 伝承に関わる人々、団体、施設が世代や地域を超えてつながり、発信を強化できるよう、ネットワークの輪を広げます
- 一、 伝承すべき経験や教訓の全国、世界に向けた発信を強化するため、メディア、大学、自治体、企業等との連携を推進します
- 一、 ネットワークや連携の力を生かしながら、伝承を担う人材の継承・発掘・育成など伝承活動の基盤強化を進めます

2021 年 5 月 23 日

3.11 メモリアルネットワーク